

全国高等学校総合文化祭 2016ひろしま総文 参加報告

全国高等学校総合文化祭 2016ひろしま総文の総合開会式と美術工芸部門の部門開会式に参加しました。

7月30日（土）、総合開会式が広島県立総合体育館大アリーナで開催されました。



会場周辺には、広島の高校生が制作した「青い絵」が飾られていました。

総合開会式には、秋篠宮さまと長女眞子さまも臨席され、落ち着いた雰囲気の中行われました。各都道府県、各部門の代表者によるアピールや、レベルの高い演奏や演技が披露されました。



開会式終了後は、平和大通りでマーチングバンド・バトントワリングによるパレードが行われました。



7月31日（日）、部門開会式が広島県立総合体育館武道場で開催されました。



次年度開催県の宮城県実行委員の皆さんがあいさつに来られました。



講演会・講評会では明治学院大学教授で日本美術史家・美術評論家の山下裕二先生による「日本美術へのいざない—伊藤若冲を中心に—」という演題で講演していただきました。若冲の作品を紹介しながら、日本の美術についてや、作品鑑賞の仕方などについての興味深いお話を伺うことができました。後半はひろしま総文で出品された作品からピックアップした作品について講評をいただきました。



生徒交流会は 2 部構成となっており、まずは広島で生産されている「けん玉」を使っでの交流会が行われました。



その後、広島県立美術館に場所を移し、グループごとお互いの作品を鑑賞し「対話式鑑賞会」による交流会が行われました。どのグループも楽しく対話し交流が進んでいました。

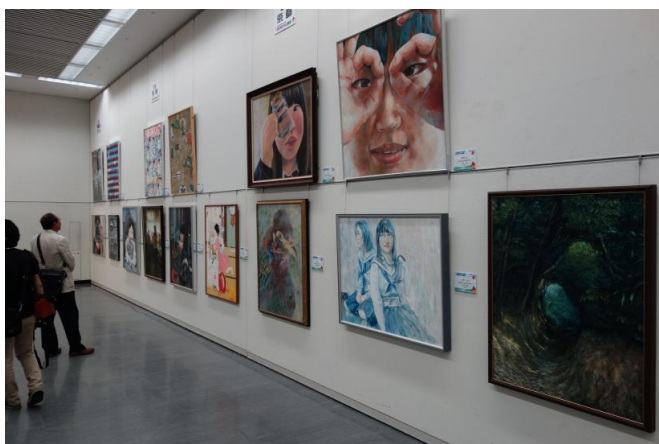




以下会場風景



兵庫県の作品（平面）



全国から集まった作品は、それぞれに魅力的で高校生の創造力に改めて感心しました。
(明石高校 三木)